２．読谷村・南部国道地域資源活用協議会の発足

一方、沖縄総合事務局南部国道事務所では、広域幹線ネットワークの形成、交通渋滞の緩和、地域の活性化、地域開発プロジェクトの支援等を目的として、読谷道路(沖縄西海岸道路)を現在整備中であります。その中でも読谷村親志から県道１２号線までの区間については、道路工事により染料の原料となる木や陶土の材料となる土や薪となる松材の発生が見込まれます。本村の地域文化の振興への貢献及び建設副産物リサイクル活用の観点から、これら発生材の有効活用を図るためこのたび南部国道事務所の協力を得て「読谷村・南部国道地域資源活用協議会」として協議会を設置することとしました。